

藤琴川および粕毛川は、白神山地の手つかずの山林に源を発している。その純度と軟度で知られるこの地域の水は、「白神山水」というブランド名で、ボトル詰めで販売されている。地元の釣り人たちによると、この二つの清流で穫れた魚は特に美味しく、人々は、どちら川で穫れた魚がより美味しいかを仲良く競い合っている。

藤琴川と粕毛川は、どちらもアユ釣りで有名なスポットである。明治天皇（1852～1912）が1881年に巡幸された際に粕毛川のアユが献上され、この地域の評判がさらに高まった。

アユは海と淡水の繁殖地の間を移動する。どちらの川も、日本海に流れ込む米代川につながっている。藤琴川には移動を妨げるダムなどの障壁はないが、1970年に素波里ダムが建設されたため、粕毛川のアユは下流に生息している。

Char は、サルベリヌス属の魚の総称で、日本語では「イワナ」として知られている。イワナは美味しい魚として知られており、より冷たく、より岩が多く、より流れの速い藤琴川の上流に生息している。粕毛川にも生息しているが、素波里ダムの北部での釣りはほとんどが禁止されている。ヤマメは体がピンク色であることからサクラマスとも呼ばれ、どちらも藤琴川の中流あたりと、米代川に合流するほんの少し手前の下流あたりで捕まえることができる。アユは粕毛川の下流域、藤琴川の中・下流域に生息している。

入漁許可

粕毛川と藤琴川での釣りの許可は、4種類に分けられる。

- 1) アユ：7月1日から10月31日まで。
- 2) コイ、フナ、ウグイ：通年。
- 3) 藤琴川の渓流および上流支流での釣り、全種：3月21日から9月20日まで。
- 4) ヤマメ：6月1日から8月31日まで。

最初の3種類の入漁料はそれぞれ1日1,000円または年間6,000円である。ヤマメの入漁料は、1日3,500円または年間15,000円である。入漁許可は、藤里周辺の釣具店や商店などで取得できる。